



NSバートルクライ

#203

3 / 2024 (135)

レキシコン - Michael Kühnen

76 - MORAL

道徳とは、内面的な従順さによって人々の生活態度を規制するとされる独断的な強制戒律の体系である。通常、すべての人、すべての時代に対して普遍的に有効であると理解されています。歴史的に見れば、道徳は、全能の神の姿を發明した啓示宗教の果実であり、その神は、永遠に有効な「汝のshalt」と「汝のshalt not」をすべての人々に投げかける。その戒律を守るかどうかで、人間の人生の善悪や死後の生存のあり方が決まる。

その後、アーリア人種の生息地（アーリア人を参照）において、道徳はこれらの宗教的起源から大きく切り離され、その結果、ついにその内的正当性を失った--ただし、外的正当性ではなく、何よりもブルジョアジーがしがみつき、ブルジョア的偽善に昇華させているものである--。

いずれにせよ、道徳とは自然なものでも正常なものでもなく、教条主義や全人類の平等という不自然な信仰に基づく強制のシステムであり、国家社会主



義は自由という理解でこれに反対しているのである。この自由には、伝統的な教団（「伝統」を参照）と同様に、自分で選んだ価値にコミットする倫理（「価値観念論」も参照）と、共同体の外部生活を規制する儀式が含まれる。

倫理と儀礼は、人間生活の多様性に対応し、それを考慮し（分化を参照）、オオカミ社会の種の保存と種の発展に従属させる。これらは、種と自然に則した新秩序の生活原理にもなる。これに対して、**道徳は国家社会主義の本質とは異質のものであることに変わりはない**。特に、闘争の現在において、独断的な道徳的概念に基づいて同志を評価し判断しようとすることに警告を発しなければならない。このような試みは、同志の義務の名の下に、常に厳しく反対されなければならない。

このため、新戦線のGesinnungsgemeinschaftは、労働、母性、政治的軍人、指導者の倫理（Führerprinzip参照）を公言し、それは、その隊列で活動する人間のそれぞれのタイプに対応し公正であるが、すべての道徳概念は個人の感情に任せ、自然に反する、国家社会主義道徳と言われる人工的産物を設計して、それを国家社会主義に導入しようとするいかなる試みにも抗しているのだ。アーリア人にとって、人民と民族の種を保存し発展させる義務を超えて、種と自然に則した道徳、したがってまた国家社会主義の道徳は存在しないのである。

77 - 母性

国家社会主義の科学的知の教義としての生物学的人文主義は、人間を、文化を創造する生物学的气質を持つ自然な存在と定義し、それは共同体としてのみ実行可能であるとする。男女間の生物学差に関する国家社会主義者の概念と、そこから引き出される政治的帰結も、このような背景から生じているのだ。

人間は圧倒的に文化的な存在である。彼の世界は、何よりも、国家、国民、帝国といった文化的共同体の世界である。彼の文化的創造性と文化を担う作品の根幹は、男性同盟にある。それに対して、女性は自然を主体にした存在です。彼女の世界は、何よりも自然界の共同体である人々や人種



の世界である。その土台となるのは、健全な家庭です。

仕事は男のためにあるもの、母性は女のためにあるもの。国家社会主義は、男の中に常に国家共同体のための、そして国家共同体の中での労働者を見るように、女の中に常に母親を見る。少女は未来の母親として、女は活動的な母親として、老女はかつての母親として。そして、男にとっての労働の倫理が、彼の生物学的に決定された仕事という課題から、人生の意味と課題として導き出されるように、女もまた、生物学的に定められた人生の意味を母性の倫理から得る（Wertidealismusも参照のこと）。

母性は、自然を保護し、育み、民衆生活における「母性」の原理として、子供を産むという過程だけでなく、多くのものを含んでいる。母性は女性としての倫理的原則であり、人生、人々、民族に対する態度であり、純粋に生物学的な意味でまだ母になれない、あるいはなれなくなったとしても、女性の人生における課題であり人生の意味なのである。

国家社会主義は、その人民の母である女性に敬意を表する。

アーリア人女性（「アーリア人」を参照）に、この二重の意味での母性を肯定するよう説得すること、すなわち、生物学的課題として、また倫理的原理として、彼女たちを指導し組織化することは、国家社会主義の女性運動の政治的課題である。

78 - NATION

国家社会主義は、人民を、その生存とより高い発展を、すべての思想、感情および行動の中心に、無条件かつ完全に位置づけるものである。しかし、種の保存と発展は、政治的にまとまりのある、自意識の高い国家共同体においてのみ可能なことである。民族主義と社会主義が、人種意識（人種衛生を参照）と結びついて、国家社会主義を形成し、そのような民族共同体の創造、保存、発展を可能にするのである。

自らを自覚し、その構成員が民族とその文化、言語、歴史にこだわり、その保存と発展のために努力する意志を持った民族共同体が国家となるのである。

国家は民衆の意志の共同体である！

このように、国家は人類の文化的共同体の中で最も重要なものである。国民を国家にする政治的意志は、乗り物を必要とし、形を見出す。

民意は国家社会党が担っている（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）。この意志がとる権力政治的な組織形態が国家である。民族国家は、自己決定権に従って、一緒に定住する民族のすべての構成員を包含するものであり、国家社会主義の人民国家として、その性質と種にふさわしい人民の組織形態である。国民が国民国家の形成を放棄できるのは、アーリア人種の生活空間を組織し、それに参加するすべての国家がその種と性質にふさわしい形で発展できるような超国家的秩序、すなわち帝国が誕生した場合のみである。

したがって、新戦線の共同体は、主としてドイツ国民国家を目指すのではなく、そのようなヨーロッパの秩序、すなわち第四帝国（ヨーロッパも参照）を目指しているのである。国家があるからこそ、歴史を尊重し、現在の問題を解決し、将来にわたって民族の種を保存し、発展させることができるのです。

79 - ナショナリズム

国家とは、人民の意志の共同体であり、国家にその権力的・政治的な組織形態を見出すものである。国家社会主義では、国家は国家主権の担い手である。したがって、ナショナリズムとは、ある国のすべての人々の中に、自分たちを一つの国家として理解し、感じようとする意志を呼び起こし、人々の過去を尊重し、現在の問題を精力的に解決して、将来にわたって人々の生存とより高い発展を可能にする国家を形成しようとする政治運動であると言えるでしょう。そのような国家は、当然ながら国民国家でなければありえない。国民国家の代わりに、いくつかの国が帝国を形成することもできる。

帝国も国民国家も存在しない時代には、ナショナリストだけが国家の存続を保証するのである。そうすると、国家権力の新たな形成のために、ひいては人民の種の保存と発展のために、ナショナリズムが将来への唯一の希望となるのである。国家や帝国がいったん形成されると、ナショナリズムはその永続性を保証する。なぜなら、ナショナリズムは、すべての人々の

中に、常に政治的意思を呼び起こし、維持し、更新しようと努力するからである。

ナショナリズムが成功し、あらゆる階級、地所、階層のすべての人々を味方につけることができるのは、これらの人々が公平に扱われ、認められていると感じ、共同体が彼らに説かれるだけでなく、この共同体が個々の人々の生活の中で体験され、祖国として感じられる場合のみである。すべての階級、地所、階層の国民的共同体は、国家の意志の共同体の前提である。だからこそ、人民であろうとする意志（ナショナリズム）は、人民の真の共同体を形成しようとする意志、ひいてはヴォルキッシュ社会主義によって政治的に結合されるのである。

そして、民族主義、社会主義、人種意識（人種衛生も参照）が融合して、国家社会主義になる。したがって、正しく理解されたナショナリズムは、国家社会主義としてのみ考えられるのである。ドイツ民族主義の政治的要求は、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の1-3項に記されている。

自己決定権

正当な平和秩序（平和を参照）。

適切な生息環境

ナショナリズムは、国際主義や帝国主義に反対するものであり、外国人民の支配を目指すのではなく、自国民の種の保存と発展を目指すものである。

80 - 国家社会主義

国家社会主義は、世界観であり、生き方である。世界観としては、生物学的ヒューマニズムの科学的認識論に基づいている。すなわち、生物学的な独自性を持つ人間から出発し、生物学的、種および自然指向の思考方法の助けを借りて、現実を知るために偏見なしに努力するものである。そうすることで、常に独断的な信念の助けを借りて現実を歪め、強姦し、その結果、人間社会の退廃を可能にするすべてのイデオロギーと、断固として対立する（「独断論」を参照）。

生命に対する態度として、国家社会主義は価値観論の倫理を公言している。すなわち、倫理的に質の高い思想への奉仕として理解される場合にのみ、生命を価値あるものとして、また意味のあるものとして認めるのである。したがって、自分の小さなエゴの幸福や快適さだけを追求する唯物論とは、まったく対照的なものである。

国家社会主義は、その二つの側面において、すべての思想と感情の中心に共同体を置き、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の標語にその完全な表現を見出すことができる。

りえきよりこうほう

人間が生きていく上で最も重要な共同体は、その人間である。したがって、国家社会主義はヴェルキッシュの世界観、人生観であり、その信奉者はヴェルキッシュ運動に属しているのである。国家社会主義の目標は、アーリア人（アーリア人参照）の種と性質に応じた高い文化の新秩序であり、そこでは、自然と文化の間の疎外と矛盾が廃止され、排除されるのである。この目標は、革命、すなわちすべての価値観の包括的かつ広範な再評価を通じてのみ達成することができる。

国家社会主義は、自由でありながら、同時に人に縛られた人格を生み出し、その才能、能力、傾向をすべて開花させ、それを国家共同体に奉仕させるものである。しかし、人は生物学的に同じではなく、異なっている（分化を参照）ので、誰もが自分の性質と個性に従って、国家社会主義に対する自分の理解を深めてもいるのです。人種や民族の同志として、男性や女性として、そしてタイプとしての性格の面で、人々が生物学的に対応する範囲においてのみ合意がある（「平等」を参照）。

しかし、この合意は、国家社会主義革命を可能にするには不十分であり、それは、信奉者のあまりにも異なる自己理解によって、宗派や派閥の形成によって脅かされるであろう。このため、国家社会主義は、革命が完成する前の闘争期においても、知的自由を制限しないが、信奉者を共通の政治的意志で縛り、そのために党を形成する。ドイツではNSDAP（ウィル参照）である。

81 「新世代の国家社会主義

現在、ドイツでは、創設者・形成者の歴史的世代、HJ世代、孫世代という3世代の国家社会主義者が活動している。後者は、国家社会主義の新世代の担い手である。後者は、国家社会主義のすべての原則を共有し、その歴史的継承者である。

今日の国家社会主義運動は、歴史的世代が結成した国家社会主義ドイツ労働者党と、HJ世代が基本的に支持していた社会主義帝国党の遺産である。両世代の忠実なメンバーが、新しく設立された国家社会主義党の核となる、今日のナチス運動に属している。これらの理由から、新世代の国家社会主義は、新しい国家社会主義ではなく、歴史的伝統の中に自らを意識的に位置づける新世代の国家社会主義なのである。

1953/64JdFのSRP禁止令と1968/79JdFの新世代の国家社会主義の最初の組織的努力の間には、国家社会主義の長い夜があり、その間、ドイツには組織的なナチス運動は存在しなかったのである。この間、歴史的状況の変化と世代交代の成功の結果、国家社会主義思想は発展を続け、過去と比較して明らかに強調すべき点に変化していた。

内政では反動が、外交では自由資本主義西欧の帝国主義が今日の主敵となっている（「自由資本主義」参照）。帝国はもはやドイツ国民国家としてではなく（「国家」を参照）、大規模なヨーロッパ秩序として理解されている（「ヨーロッパ」と「Lebensraum」を参照）。東方拡大ではなく、国家東方政策、ひいてはソビエト連邦との統一を目指すのである。

人種政治の面では、白色人種全体（アーリア人参照）に対する関心であり、もはや北欧系民族だけ（ゲルマン人参照）に対する関心ではない。一人の優秀な指導者への崇拝は、国家社会主義党の主導的な役割の認識にとって代わられた（Führerprinzipと元老院も参照のこと）。総じて、新世代の国家社会主義は、ブルジョアジーの時代を全面的に克服し、労働者階級の時代を確立する革命的な社会主義の思想と運動である。

ドイツにおける新世代の国家社会主義運動は、ナチス禁止令の条件下で、組織的には合法部門（新戦線のGesinnungsgemeinschaft）と地下のNSDAP/

AOに分かれている。新世代の国家社会主義は、新戦線の一般路線によって規定されている。

卍の下で楽しむ

ゲルハルト・ラウクによる逸話集

31.

鉤十字のステッカーをポケットに忍ばせておくと、どこへ行くにも便利だ。最近、アーカンソー州のホットスプリングスを旅した時のことだ。ある日の早朝、バスハウス通りを車で走っていると、ユダヤ系デパートの前にヘッドライトを焚いたままの新車のキャデラックが止まっているのが目に入った。その車の後ろに車を止め、バッテリーが完全に切れる前に持ち主を探そうとしたとき、リアバンパーに「アパルトヘイトに反対する白人たち」というステッカーが貼られていることに気づいた。

善きサマリア人の意図はもはや適切ではなく、私は2枚の「ニガー用心！」ステッカーを取り出し、不快なバンパーの上に貼り付け、その反白人感情を完全に覆い隠してしまった。そのとき、この人種差別主義者が帰ってきたら、電池が切れて、汚れたバンパーが鉤十字になっているのを発見するだろう、と思うと、二重の喜びを感じた。一方、歩道を行き交う人々は、この新しく飾られた自動車をよく見ている。

32.

ある夜、党のシカゴ本部で当番が電話に出たところ、ユダヤ人の罵詈雑言が耳に入ってきたという話である。

「お前らナチがスコキーに来たら、その内臓を他の人種差別主義者の犬に食べさせてやる!」、などと愛想よく言った。この息の詰まるようなおしゃべりが数分続き、聞き役の当直士官は一言も発しない。

“お前はゴミ野郎だ ”と電話は続いた。“聞いているのか?お前はゴミ男だ!ゴミ男だ!”。ゴミ屋敷の男だ!”

二の足を踏んでいると、当直が落ち着いた優しい声で言った。“いや、

私はゴミ屋ではないが、あなたとあなたの家族を回収に来る時はそうする”と。

電話の相手は悲鳴をあげて電話を切った。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERTREUE AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

Der Kampf geht weiter !

Sechzig Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist der nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrzehnte von Massentötung, Verdrängung, Verfolgung und Verbannung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der germanischen Rassen hoch qualifizierten Führern Adolf Hitler zu unterwerfen.

Alle Nationalsozialisten sind weniger affektuelle Volkler und Rassenmenschen als ein Schicksal im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwiegend Gegner ist aber dabei, dem Volkstum – gegen alle weißen Völker (?) – zu begegnen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überforderung und Rassenmischung.

Ein "Tag" oder "Nacht", ob im Waldkampf oder im Straßenkampf, ob als Propagandakampagne, bewaffnet oder mit einem Kolbenstift anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler!
Gottard Lank



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSDK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningthescient.com/truth.htm)に集中していますが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の地雷原です。一つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (126)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "tag" or "nacht", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!
Gottard Lank



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO nsdapao.info